

教第22号議案

平成27年度神戸市一般会計歳入歳出決算（教育委員会所管分）に関する意見決定の件

平成27年度神戸市一般会計歳入歳出決算（教育委員会所管分）が上程されるに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定に基づき提示すべき意見を別紙のとおり決定する。

平成28年8月23日提出

神戸市教育委員会

教育長 雪村新之助

平成27年度神戸市一般会計歳入歳出決算（教育委員会所管分）の上程に  
関する意見

平成 27 年度神戸市一般会計歳入歳出決算（教育委員会所管分）の上程につ  
いては異議ありません。

平成 28 年 8 月 23 日

神戸市教育委員会

教育長 雪 村 新 之 助

教委総第 1003 号

平成 28 年 8 月 23 日

神戸市教育委員会

教育長 雪村 新之助 様

神戸市長 久元 喜造

平成 27 年度神戸市一般会計歳入歳出決算（教育委員会所管分）  
に関する意見聴取の件

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 29 条の規定に基づき、平成 27 年度神戸市一般会計歳入歳出決算（教育委員会所管分）を上程するに当たり、神戸市教育委員会の意見を聴取します。

（担当：教育委員会事務局総務部総務課）

Ⅱ 平成27年度一般会計歳入歳出決算額一覧表

(1) 歳 入					歳 出					
款 項	予 算 現 額	決 算 額	予算現額に比し 増△減	決算明 細書頁	款 項	予 算 現 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	決算明 細書頁
	円	円	円	頁		円	円	円	円	頁
1 5 使用料及手数料	1,575,114,000	1,525,247,219	△ 49,866,781	10	1 3 教 育 費	75,093,728,000	61,527,747,758	4,549,752,000	9,016,228,242	162
1 使 用 料	1,560,238,000	1,512,239,419	△ 47,998,581	16	1 教 育 総 務 費	5,185,231,000	5,044,808,219	0	140,422,781	164
2 手 数 料	14,876,000	13,007,800	△ 1,868,200	18	2 教 育 振 興 費	2,440,166,000	2,311,604,004	0	128,561,996	166
1 6 国 庫 支 出 金	2,672,615,000	1,907,450,171	△ 765,164,829	20	3 幼 稚 園 費	2,397,879,000	2,289,540,190	0	108,338,810	168
1 負 担 金	408,375,000	259,783,000	△ 148,592,000	22	4 小 学 校 費	8,490,785,000	8,393,979,183	0	96,805,817	168
2 補 助 金	2,221,767,000	1,624,645,741	△ 597,121,259	28	5 中 学 校 費	2,396,837,000	2,355,837,685	0	40,999,315	170
3 委 託 金	42,473,000	23,021,430	△ 19,451,570	30	6 高 等 学 校 費	8,895,178,000	8,719,367,470	0	175,810,530	172
1 7 県 支 出 金	166,928,000	167,536,450	608,450	30	7 特 別 支 援 学 校 費	1,405,613,000	1,123,618,640	186,624,000	95,370,360	172
2 補 助 金	166,928,000	167,136,450	208,450	36	8 高 等 専 門 学 校 費	1,984,297,000	1,820,904,036	14,554,000	148,838,964	174
3 委 託 金	0	400,000	400,000	38	11 社 会 教 育 費	3,446,419,000	2,831,877,982	134,150,000	480,391,018	176
1 8 財 産 収 入	21,962,000	18,792,476	△ 3,169,524	38	12 体 育 保 健 費	6,233,344,000	5,117,604,023	0	1,115,739,977	180
1 財 産 運 用 収 入	5,402,000	865,812	△ 4,536,188	38	13 学 校 建 設 費	30,727,234,000	20,932,936,029	3,502,559,000	6,291,738,971	184
2 財 産 売 払 収 入	5,983,000	7,193,357	1,210,357	40	14 教 育 施 設 整 備 費	1,490,745,000	585,670,297	711,865,000	193,209,703	188
3 基 金 収 入	10,577,000	10,733,307	156,307	40	1 5 諸 支 出 金	37,190	27,740	0	9,450	188
1 9 寄 附 金	103,000,000	91,978,531	△ 11,021,469	42	2 過 年 度 支 出	37,190	27,740	0	9,450	194
1 寄 附 金	103,000,000	91,978,531	△ 11,021,469	42						
2 0 繰 入 金	415,379,000	434,274,206	18,895,206	44						
2 基 金 繰 入 金	415,379,000	434,274,206	18,895,206	46						
2 2 諸 収 入	15,038,882,000	9,376,491,513	△ 5,662,390,487	48						
1 納 付 金	131,309,000	151,014,755	19,705,755	50						
2 措 置 費 等 受 入	988,571,000	861,754,500	△ 126,816,500	50						
4 受 託 事 業 収 入	398,950,000	75,788,704	△ 323,161,296	50						
5 貸 付 金 元 利 収 入	12,922,319,000	7,839,696,098	△ 5,082,622,902	54						
6 過 年 度 収 入	0	2,105,077	2,105,077	54						
7 雑 入	597,733,000	446,132,379	△ 151,600,621	56						
歳 入 合 計	19,993,880,000	13,521,770,566	△ 6,472,109,434		歳 出 合 計	75,093,765,190	61,527,775,498	4,549,752,000	9,016,237,692	

## I 平成27年度決算の状況

教育委員会では、神戸の教育に関する総合的な中期計画である「第2期神戸市教育振興基本計画」（平成26～30年度）に基づいて施策を推進しており、この5か年の計画をもとに、年度毎の具体的な取組の目標と計画を示した「平成26年度の目標及び行動計画アクティブプラン」を策定し、各種事業に取り組んできた。

平成27年度は、引き続き、児童生徒の学力の向上に取り組むとともに、全小学校の普通教室への空調設備の設置をはじめとする教育環境の整備を進めるなど、9の重点施策に沿って、着実に事業を推進してきた。

あわせて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、市長との連携強化をはかりながら、総合教育会議の開催、大綱の策定など、教育委員会制度改革にも取り組んできたところである。

### 重点施策1 児童生徒の学力の向上

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	決算額 (単位：千円)
<b>① ◎学力向上推進プロジェクト</b> 授業づくりの基本的なスキルのマニュアル化や、「神戸授業マイスター」による優れた授業の動画ライブラリーの構築などにより、教員一人一人の授業力アップをはかるとともに、大学教員や教員OBなどからなる「学力向上支援チーム」の派遣により校内研修等の組織的な取組を支援することで、児童生徒の学力向上につなげていく。	12,145
<b>② ○学ぶ力・生きる力向上支援員の配置</b> 児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を行い、児童生徒の確かな学力や規範意識、豊かな人間性を育むため、少人数指導や複数指導などを行う、学ぶ力・生きる力向上支援員の配置を拡充した。 ・平成26年度配置校：小学校55校、中学校25校 ・平成27年度配置校：小学校110校、中学校40校	215,473
<b>③ ○神戸市学力定着度調査の実施</b> 平成26年度までに小学校5年生・中学校2年生全員を対象として実施した学力定着度調査について、さらに小学校4年生・中学校1年生を対象に加えることで、国の全国学力・学習状況調査の対象である小学校6年生・中学校3年生を含め、小学校4年生から中学校3年生までの6年間を通じた個々の児童生徒の学力の定着状況を把握し、それぞれに対応したきめ細かな学習指導を行った。	73,948
<b>④ ○学習支援ツールの導入</b> 児童生徒の習熟度に応じた教材プリントが作成でき、映像や音声による解説機能の付いた学習支援ツールを全中学校に導入した。 ・平成26年度導入校：小学校10校、中学校10校 ・平成27年度導入校：小学校42校、中学校全校	15,025

<p>⑤ ○学校図書館の活性化および子供の読書活動の推進</p> <p>学校図書館の環境整備を行い、常時開館するとともに、調べ学習等での利活用を進め、児童生徒の豊かな心と読解力や思考力、表現力など確かな学力を育むため、小中学校への学校司書の配置を拡充した。また、子供読書活動推進のための啓発や交流会等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度配置校：小学校 20 校、中学校 10 校</li> <li>・平成 27 年度配置校：小学校 40 校、中学校 20 校</li> </ul>	60,759
<p>⑥ ○理科の授業づくり支援</p> <p>理科の学力向上のため、総合教育センターにおいて実験器材の整備や理科観察実験支援員の配置を行って教員研修等の充実をはかり、観察実験を取り入れた小中学校の理科の授業づくりを推進した。</p>	1,471

## 重点施策 2 いじめ・不登校対策の充実

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	決算額 (単位：千円)
<p>① ○スクールカウンセラーの配置拡充</p> <p>児童生徒や保護者の心の相談にあたり、各学校の実情に応じた柔軟な対応を可能にし、いじめや不登校等の未然防止や早期発見・早期解決をはかるため、スクールカウンセラーの配置拡充を行い、教育相談体制の強化をはかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度配置校</li> <li>月 2 回配置：小学校 59 校、高校・高専 11 校</li> <li>月 4 回配置：小学校 44 校、中学校 82 校 巡回配置：特別支援学校 6 校</li> </ul>	253,044
<p>② ◎こうべつ子いじめ防止広域キャンペーンの実施</p> <p>平成 26 年度から実施している「いじめ防止小中地域会議」の取組をさらに発展させ、いじめ防止に対する地域の関心とともに、児童生徒の意欲・問題意識を高めるため、区域内の学校の児童生徒が、いじめ防止に関する街頭広報活動を市内 10 地域で実施した。</p>	2,125
<p>③ スクールソーシャルワーカーの配置</p> <p>学校だけでは解決困難な、子供の健全な成長を阻害する環境の改善を支援し、いじめや不登校の早期発見・早期対応をするため、家庭、学校、地域および関係機関の支援ネットワークを築く福祉の専門家を配置した。</p>	4,609
<p>④ インターネット安全教室の開催</p> <p>インターネットやスマートフォン等を通じて行われるいじめへの対策として、これら通信手段の適切な使用方法や情報モラルについて指導を行うために、大学・警察等と連携し、指導案の作成や小学校への講師派遣を行った。</p>	1,856
<p>⑤ 学校ネットパトロール</p> <p>インターネット等を通じて行われるいじめやネットトラブルの対策として、専門業者による学校ネットパトロールを実施し、不適切な書き込みの点検・削除依頼などを行った。</p>	1,468

<p>⑥ <b>不登校等の教育相談の実施</b> 不登校等の学校への不適応を示している児童生徒およびその保護者に対し、総合教育センターにおいて、臨床心理士によるきめ細かな教育相談を行った。また、保護者支援のため、児童生徒の不適応の理解と早期対応に関する専門家の講演会等を開催した。</p>	28,810
<p>⑦ <b>学校サポートチームの派遣</b> いじめ問題など学校だけでは解決困難なケースについて、警察OBや弁護士等で構成されるサポートチームにより、学校の緊急支援を行った。また、いじめ問題などの未然防止、早期対応を行うため、各区担当の学校支援アドバイザーを配置した。</p>	4,502
<p>⑧ <b>いじめ・体罰・子ども安全ホットライン（24時間電話教育相談）</b> いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、体罰等についての相談窓口として対応するため、深夜および休日も含めた24時間対応可能な電話相談を実施した。</p>	12,320

### 重点施策3 特色ある学校教育の推進

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	決算額 (単位：千円)
<p>① ◎<b>新たな英語教育の導入ー外国人英語指導助手（ALT）の配置拡充ー</b> 小学校における英語教育の教科化など、新たな英語教育の円滑な導入のため、井吹台中学校区の小・中学校4校を研究推進校に指定し、ALTを重点的に配置することで、カリキュラム研究や教材作成等を実施するとともに、教員研修を全市で推進した。 ・ALT配置時間数（年間） 中学校 35時間、小学校5・6年 12時間、小学校3・4年 7時間</p>	632,992
<p>② <b>新たな防災教育の推進</b> 阪神・淡路大震災から21年目の新たな一步を踏み出し、未来につながる神戸の防災教育を全国に発信した。また、東日本大震災から5年目の節目を迎えることから、東北の被災地との交流を実施した。 実施事業・神戸発「生きる力を育み、未来へつなぐ」防災教育研究大会 ・東北・神戸 こころの絆プロジェクト ほか</p>	5,705
<p>③ ◎<b>「できたよ！教室」の開催</b> 運動が苦手な児童に対し、達成感と自信を持たせ、運動意欲・体力の向上につなげるため、「できる」「できない」がはっきりしたとび箱等の運動について、スポーツ分野で指導力を持つ民間外部指導者を活用し、放課後に運動教室を開催した。</p>	1,129
<p>④ <b>小中一貫教育の推進</b> 小中一貫教育のモデル校に指定している港島小・中学校において、一貫教育のあり方について、研究実践を行った。</p>	1,413

<p>⑤ <b>キャリア教育の推進</b>          キャリア教育を推進するため、ゲストティーチャー事業、トライやる・ウィーク、高校生が企業実習などを行う神戸あじさい人材プロジェクトなどを実施し、大人の働く姿や親の背中を通して、小・中・高校各発達段階に応じた職業観・勤労観を養成していく。</p>	71,612
<p>⑥ <b>神戸っ子音楽応援団（置塩こども育成基金）</b>          子供のころから音楽や楽器に触れ、音楽の楽しさを学び、興味を持つ機会をつくるため、神戸市演奏協会との共催事業「神戸っ子音楽応援団」を実施した。神戸市混声合唱団・神戸市室内合奏団が小学校を巡回し、プロの歌声や演奏を聞かせたり、楽器に触れさせたりする機会をもった。</p>	3,720
<p>⑦ <b>こうべ学びの支援センターの運営</b>          小中学校の通常の学級に在籍する発達障害等のある児童生徒に対して、臨床心理士による面接や、小児神経科・児童精神科医等専門家による医療教育相談、専門相談員や巡回相談員の学校巡回などによる支援を行った。</p>	33,820
<p>⑧ <b>地域で支える部活動の充実</b>          生徒数の減少とそれに伴う教員数の減少による中学校部活動の休廃部に対応するため、技術指導を行う部活動外部指導員を配置した。          ・平成27年度配置：運動部148部・文化部57部</p>	32,295

#### 重点施策4 特別支援教育の推進

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	決算額 (単位：千円)
<p>① ◎HAT神戸地域における特別支援学校の建設          児童生徒数の増加による青陽東養護学校の過密化の解消と、特別支援教育の充実をはかるため、HAT神戸の小学校用地における知肢併置の特別支援学校設置に向けた協議・調整を行った。</p>	994
<p>② ○(仮称)いぶき明生支援学校建設          垂水養護学校と青陽西養護学校の耐震化をはかるため、青陽須磨支援学校を含めた3校で通学区域を再編し、西区井吹台西町に知肢併置の特別支援学校の建設を進めた。</p> <div data-bbox="756 1543 1190 1854" style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場 所 西区井吹台西町</li> <li>・事業費 約73億円(土地代含む)</li> <li>・開校予定 平成29年4月</li> </ul>	1,715,363
<p>③ ○特別支援学校の通学対策          障害のある児童生徒が安心して通学できる体制を整えるため、従来のスクールバスの運行・タクシー交通費の補助に加え、青陽須磨支援学校・友生支援学校のバスの増車を行った。</p>	316,008



<p>④ ○特別支援学校の医療的ケア体制の強化 医療的ケアを必要とする子供たちがより安全に安心して学校生活を過ごすことができるよう、友生支援学校および垂水養護学校のパート看護師を増員した。 ・平成27年度配置数：11名</p>	26,513
<p>⑤ ○特別支援教育支援員の配置拡充 特別支援教育にかかる配慮を要する児童生徒への支援のために、特別支援教育支援員の配置を拡充した。 ・年間平均配置日数 80日→90日</p>	65,510
<p>⑥ 特別支援学校の就労支援プログラムの推進 生きる力を育み、働く喜びを学ぶため、企業・ハローワーク・就労推進センターなど関係者と学校が協力・連携し、「就労支援プログラム」を推進した。 また、学校における就労支援や進路指導に関する取組の充実のため、新たに企業関係者の参加も得て、「就労支援プログラム研修会」を実施した。</p>	1,142

## 重点施策5 学校園の再編

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	決算額 (単位：千円)
<p>① ◎丸山ひばり小学校開校 児童数の減少により小規模化が進む、長田区北部の丸山小学校と雲雀丘小学校について、適正規模化により教育環境の改善をはかるため再編・統合し、丸山ひばり小学校を平成28年4月に開校した。</p>	8,346
<p>② ○舞多聞小学校開校 人口の増加に伴い、今後大幅な児童数の増加が見込まれる垂水区舞多聞地区において、小学校を開校した。 ・場 所 垂水区舞多聞 ・事業費 約32億円 ・開 校 平成28年4月</p>	100,243
<p>③ ○兵庫区北部東・中央区小中学校再編事業 小学校再編事業（平野小、湊山小、荒田小、湊川多聞小を統合し、平成27年4月に神戸祇園小が開校）の完了に伴い、湊川多聞小学校の敷地等について、湊翔楠中学校のグラウンドとして整備を行った。 ・場 所 中央区楠町 ・整備面積：約11,300㎡（既存グラウンド含む）</p>	313,478
<p>④ ○神港橋高等学校開校 神港高校と兵庫商業高校を再編統合して、企業や大学などとの連携を積極的に行い、神戸の強みや特色を活かした新しい商業教育を展開することで、社会的・経済的に自立し、地域に貢献する人材を育成する神港橋高校を開校した。 ・事業費 約60億円 ・開 校 平成28年4月</p>	3,594
<p>⑤ ◎公立幼稚園の再編・見直し 公立幼稚園の子ども・子育て支援新制度の移行にあわせ、公立幼稚園の再編・見直しに取り組み、平成29年度末から平成32年度末にかけて9園を閉園することとした。</p>	—

## 重点施策6 学びを支える環境の整備

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	決算額 (単位：千円)
<p>① ◎児童生徒への通学費援助 公共交通機関を利用し通学する児童生徒（小学生2km以上、中学生3km以上）に対し、所要の通学費の1/2を援助した。</p>	21,915
<p>② ○中学校給食実施 平成27年11月から全校で実施を予定していた中学校給食について、平成27年10月に1事業者の契約を解除し、東灘区・西区を除く7区について、給食の提供停止・開始延長を行った。平成27年11月より、「神戸市中学校給食の検証・検討に関する有識者会議」を設置し、安全・安心な給食の再開に向けて検証・検討を行った。</p>	1,727,696
<p>③ ◎防犯カメラの設置 学校園における不審者の侵入防止を目的として、校門への防犯カメラ設置を行った（小学校全校への設置を完了）。 ・平成27年度実施：幼稚園12園、小学校32校、中学校20校（計64校園）</p>	125,695
<p>④ ○小学校への空調整備 子供たちの快適な学習環境を確保するため、平成27年度中に空調設備がない全ての小学校（100校）の普通教室等に空調設備を整備した。100校のうち71校については、PFI手法により整備を行った。</p>	3,863,709
<p>⑤ ○非構造部材の耐震化 子供たちの安全安心の確保や災害時の避難所としての機能確保のため、学校体育館等の天井部材の耐震化を行った。 ・平成27年度実施：小学校5校、中学校28校、高等学校2校、特別支援学校1校（計36校）</p>	1,639,202
<p>⑥ ○学校のエレベーター設置 エレベーターを必要とする児童生徒が上下階を円滑に移動できるように、また、地域の防災拠点や地域活動、生涯学習の場として、地域の方々が活用できるように、必要な学校にエレベーターを順次設置し、ユニバーサルデザインの推進をはかっていく。 ・平成27年度実施：小学校1校、中学校2校</p>	182,225
<p>⑦ ○学校施設の長寿命化（ファシリティマネジメント） 今後、建築後30年を経過する老朽校舎が増大し、その建替えに多額の経費が必要となることから、外壁・屋根を中心に計画的に老朽改修を行うことにより、長寿命化をはかっていく。 ・平成27年度実施：小学校5校、中学校3校</p>	356,297
<p>⑧ ○上筒井小学校・筒井台中学校改築 上筒井小学校と筒井台中学校の各校舎は耐震化の必要があり、建設から50年以上経過しており全面改築を実施する。また、同一敷地内にあるため、小中連携モデル校として平成24年度より一体的に整備を行っている。 ・場 所 中央区野崎通      ・事業費 約41億円 ・完成予定 平成28年度</p>	946,391

<p>⑨ ○伊川谷小学校の校舎増築 人口増加に伴い児童数が大幅に増加している伊川谷小学校について、3階建ての校舎を増築することで運動場面積を確保し、教育環境の改善をはかった。 ・事業費 約8億円</p>	724,397
<p>⑩ ◎井吹台中学校第2グラウンド整備 生徒数の増加が見込まれる井吹台中学校において、グラウンド狭小化対策として、生徒の部活動利用等を目的として第2グラウンドを整備し、教育環境の改善をはかった。 ・場所 西区井吹台西町 ・整備面積 約15,000㎡</p>	130,393
<p>⑪ ◎時代にあった高度な実験実習設備の導入（工業高等専門学校） 産業の高度化に伴い、新たな産業界のニーズに応える優秀なエンジニアを育成する必要性が生じていることから、時代にあった高度な実験実習を実施するため、新たな設備を導入した。</p>	40,395
<p>⑫ ◎ものづくり実習機器整備・更新（科学技術高等学校・神戸工科高等学校） ものづくり教育に不可欠な実習機器について、更新を行い、先端機器の整備を進めることにより、技術の実践・習得に励む生徒の姿勢を支援し、競争力ある人材の育成につなげていく。</p>	30,594
<p>⑬ 防犯ブザーの貸与 新小学1年生および転入生に防犯ブザーを配布し、児童の登下校時の安全対策を行った。</p>	4,318
<p>⑭ ◎熱中症予防対策 熱中症予防対策として、夏季を中心としてグラウンドに設置するためのテントを、不足している学校園に配付した。</p>	28,663
<p>⑮ ○神戸高専の施設保全改修 工業高等専門学校について、トイレ等のバリアフリー改修や防災設備の更新を行い、施設の安全・安心を確保した。また、実験室等に空調設備を設置することで、学生の教育環境の向上をはかった。</p>	196,555
<p>⑯ 学校園運営費 市立学校園の運営に要する経費。教材用消耗品費、光熱水費、修繕費など。</p>	5,609,934
<p>⑰ 神戸市奨学金 経済的な理由により、通・修学が困難な市内在住の高校生に対し、給付型の奨学金を支給した。</p>	157,840
<p>⑱ 県費負担教職員制度にかかる権限移譲への対応 義務教育における教職員の給与支給、定数決定等の権限の政令指定都市への移譲に向け、市費の対象となる教職員への給与支給のために、引き続き神戸市人事給与システムを拡張するとともに、新たに旅費システムの構築を進めた。 ・平成29年度移譲予定</p>	113,439
<p>⑲ 教育・地域連携センター運営 教職員OBや大学生などの人材バンクへの登録や学生スクールサポーター制度により、学校教育活動などへの支援人材を発掘・確保するとともに、支援員の確保が困難な学校に対するサポートを行うため、「教育・地域連携センター」の運営を行った。</p>	12,459

重点施策7 「する」「みる」「ささえる」スポーツの振興

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	決算額 (単位：千円)
<p>① ◎「ラグビーワールドカップ2019」の開催準備</p> <p>「ラグビーワールドカップ2019」神戸開催に向けて、開催機運醸成のためのプロモーション活動やラグビーの普及啓発として、専用のホームページの開設、イングランド大会のパブリックビューイングを行った。また、神戸全体でスクラムを組んで大会を盛り上げていくため、兵庫県や経済界等と連携して「ラグビーワールドカップ2019神戸開催準備委員会」を設立した。</p>	96,197
<p>② ◎東京オリンピック・パラリンピック関連事業</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックの事前合宿等の誘致に向け、オーストラリア水泳チームへのトップセールス活動など、各国に赴き誘致活動を行った。また、平成28年1月には大会の開催効果を全国に波及させるため、国が推進している「ホストタウン」に登録された。</p>	3,290 (企画調整局)
<p>③ 「第5回神戸マラソン」の開催</p> <p>「健康を楽しむまちづくり」の実現に向け、スポーツ振興の核となる「第5回神戸マラソン」を開催した。</p> <p>〈大会概要〉 開催時期：平成27年11月15日（日曜日） 種目：フルマラソン、クォーターマラソン 出走者数：フルマラソン17,621人、クォーターマラソン2,039人</p>	88,700
<p>④ ○「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催準備</p> <p>4年に1度の生涯スポーツの国際競技大会である「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催準備として、関西マスターズスポーツフェスティバルの開催や、ポスターの配布などを行った。</p>	13,797
<p>⑤ 「神戸アスリートフェスタ2015」等の開催</p> <p>トップアスリートとの交流により、子供たちに夢や感動体験を与えるため、「神戸アスリートフェスタ2015」等を開催した。</p>	4,000
<p>⑥ 「夢の教室」(ユメセン)の実施</p> <p>「夢を持つこと」「仲間と協力すること」の大切さを子供たちに伝えるため、日本サッカー協会に登録されたさまざまなジャンルのアスリートが「夢先生」として、小学校で授業を行った（5年生対象）。</p>	956
<p>⑦ 全日本高等学校女子サッカー選手権大会の開催</p> <p>高等学校女子サッカーの最高峰である全日本高等学校女子サッカー選手権大会を神戸市をメイン会場として実施した。</p>	8,000



(ホストシティマーク)

<p>⑧ ○スポーツイベントの開催</p> <p>各種のスポーツイベントや、区と連携したイベントを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際フットサル大会「SFIDA F. LEAGUE OCEAN CUP KOBE FESTA2015」</li> <li>・ジャパンオープン萩村杯 2015 国際卓球選手権大会</li> <li>・スポーツフェスティバルこうべ 2015 in 王子</li> <li>・たるみ健康いきいきウォーク 2015</li> <li>・トップアスリートによるスポーツ教室</li> </ul>	7,492
---	-------

## 重点施策 8 社会教育の充実

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	決算額 (単位：千円)
<p>《青少年科学館》</p> <p>① ○青少年科学館の魅力向上</p> <p>新しい時代の流れに対応した展示となるようリニューアル等を行い、家庭や学校ではできない体験を通し、科学への興味・関心、知的好奇心、創造性を育める場としての充実をはかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「神戸の科学と技術」をテーマにした第4展示室のリニューアル (置塩こども育成基金)</li> <li>・リクライニングシート導入によるプラネタリウム快適鑑賞空間の創出</li> <li>・JAXA等の協力による特別展「宇宙への挑戦」の開催</li> </ul>	129,855
<p>《図書館》</p>	
<p>① ○予約図書受取コーナーの設置拡充</p> <p>インターネットなどで貸出予約をした図書の受取りや返却ができる「予約図書受取コーナー」(市民図書室内)を新たに4か所設け、利便性のさらなる向上をはかった。(市内合計12か所)</p>	32,558
<p>② 図書返却ポストの設置</p> <p>図書館の図書がいつでも返却できるポストを、乗降客の多い駅など市内3か所で継続設置した。</p>	5,150
<p>③ 「おきしお文庫」の充実(置塩こども育成基金)</p> <p>各地域図書館ごとのテーマに沿った特色のある資料や、中央図書館において、より専門的な収集を行い、全館的な蔵書の拡充をはかった。</p>	28,073
<p>④ 自動貸出機(ICタグ対応)の導入</p> <p>平成22年度より行っている図書館の図書へのICタグの貼付を継続して行うとともに、貼付の完了した図書館にICタグに対応した自動貸出機を導入することで、図書の貸出しの利便性を高めた。</p> <p>平成27年度導入：灘図書館・垂水図書館・西図書館</p>	12,600

<p>《博物館》</p>	<p>5,309</p>
<p>① ◎博物館リニューアルの検討</p>	<p>137,560</p>
<p>博物館リニューアルにむけた検討を行い、基本計画を策定した。</p>	
<p>② 特別展の開催</p>	
<p>「プラハ国立美術工芸博物館所蔵 耀きの静と動 ポヘミアングラス」 (平成27年6月6日(土)～8月30日(日))</p>	
<p>「大英博物館 100のモノが語る世界の歴史」 (平成27年9月20日(日)～1月11日(月・祝))</p>	
<p>「須磨の歴史と文化展 受け継がれる記憶」「太山寺展」 (平成28年2月6日(土)～平成28年3月21日(日))</p>	
<p>十一面観音像(須磨寺蔵, 鎌倉時代, 国指定重要文化財) 切れ長の眼と繊細な彫りが美しい鎌倉時代の仏像。 鎌倉時代を代表する仏像制作集団・慶派(けいは)の作品。</p>	
<p>③ 特別展の開催準備</p>	<p>65,000</p>
<p>平成28年度に開催する特別展「神戸開港150年記念事業プレイベント 松方コレクション —松方幸次郎 夢の軌跡—」の開催準備を行った。</p>	
<p>④ 神戸ゆかりの美術館特別展の開催</p>	<p>17,765</p>
<p>「画業40周年 わたせせいぞうの世界展 ～ハートカクテルから アンを抱きしめて～」(平成27年11月7日(土)～平成28年1月11日(月・祝)) 「招き猫亭コレクション 猫まみれ展」(平成28年1月22日(金)～3月27日(日))</p>	
	<p>わたせせいぞう 「アンを抱きしめて・村岡花子物語」 昨年のNHKの朝ドラの主演 「赤毛のアン」の翻訳者</p>
<p>⑤ 小磯記念美術館特別展の開催</p>	<p>20,703</p>
<p>「コレクション再発見 小磯とゆかりの画家たち」 (平成27年6月27日(土)～8月30日(日)) 「国立美術館巡回展 洋画の大樹が根付くまで」 (平成27年9月12日(土)～11月3日(火・祝)) 「東京藝術大学・小磯教室に学んだ美術家たち2 野田弘志展」 (平成27年11月14日(土)～平成28年1月31日(日))</p>	
<p>野田弘志「和香子」1983年 新聞連載小説『湿原』(加賀乙彦著) の挿絵原画。野田弘志の力量を表す 丹念に描かれた鉛筆画。</p>	

《文化財保護啓発》

① ◎「旧ハンター住宅」活用調査

神戸市立王子動物園内にある「旧ハンター住宅」について、有識者会議を設置するなど、活用のあり方の調査・検討を行った。



1,015

② 文化財保護

- ・「西尾家住宅」、「善光寺 不動明王及二童子像」、「石峯寺」 他5件
- ・市指定茅葺民家維持管理助成、修理助成の嵩上げ
- ・「風見鶏の館の空調設備更新」、伝統的建造物の修理助成、伝建簡易水道消火装置等設置助成等
- ・市所有文化財の維持管理

75,596



ラインの館



善光寺 不動明王二童子像

③ 文化財啓発

- ・文化財めぐりバス
- ・おとし山まつり（垂水区）、五色塚古墳まつり 2015（垂水区）、西区地域学（西区）
- ・ガラス乾板デジタル化事業

1,881

④ 文化財調査

- ・埋蔵文化財調査
- ・古文書調査

124,931

⑤ 埋蔵文化財センター

- ・企画展の開催（春・夏・秋・冬）
- ・講演会・公開講座等の開催
- ・市内小学校への出張考古学講座

40,287

社会教育施設のファシリティマネジメント推進

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	決算額 (単位：千円)
① ○公民館の耐震化 指定避難所となっている各公民館について、耐震化を行うための耐震補強工事等を実施した。	111,512
② ◎図書館改修 中央図書館の防災設備、放送設備等の更新に加え、北図書館及び新長田図書館の空調設備等を更新した。	47,267
③ ◎青少年科学館施設改修 建築後30年以上が経過している施設の老朽化に対応するため、防水工事や電気設備更新を行った。	33,193
④ ◎生涯学習支援センター施設改修 建築後40年が経過している施設の老朽化に対応するため、防水工事や受変電設備更新を行った。	20,683
⑤ ◎ポートアイランドホール改修 施設開設後31年が経過し、設備が老朽化しているため、火災報知設備及び加圧給水ポンプの更新を行った。	22,177
⑥ ◎ポートアイランドスポーツセンター改修 夏季は全館冷房用の冷水を作り、冬季はスケートリンク用の氷を作るための冷凍運転を行うターボ冷凍機について、オーバーホールを実施した。	36,468
⑦ ◎博物館改修 開設後32年を経過し、設備の老朽化が進んでいるため、荷物用エレベーター、映像監視システム等の更新を行った。	67,998
⑧ ◎小磯記念美術館改修 経年劣化による外壁防水改修、映像監視システムの更新、適正な温湿度の保持を目的とした空調機設備工事、来館者用トイレの洋式化工事を行った。	20,184